

三重県小売物価統計調査

昭和35年（1月～12月）の消費者物価指数概況

昭和35年の県下6市平均消費者物価は、牛乳、食パン、清酒、肉類、調味料の値上がりに加えて、異常乾燥による野菜の騰貴が目立つた。

一方、住居も家賃、間代および板ガラス、角材、板材などの住宅修繕材料の値上がりによつて上昇を示すとともに、光熱も3月以降一時微落していたが、9月からは、まきをはじめ木炭、れん炭などが反騰した。また被服については年初以来下降傾向を示していたが、9月の秋物需要期を境にしてやや持ち直してきた。雑費は4月に幼稚園保育料の値上りを始め理髪料、パーマメント代などサービス料金関係も相次いで値上がりした。

このように、35年の消費者物価は、近年にない値上げ材料が重なり、かなり高水準を示しつつ推移した。しかし、総合指数でみるとこの騰勢も11月には一段落している。これは毎年9月から10月にかけて台風の影響を受ける野菜が35年は穀類とともに豊作が伝えられ、急激な下落傾向をみせた影響が大きい。

以上の結果、年平均指数でみると総合指数では前年の102.1に比べて105.7と3.5%と上回っており、昭和26年以来最高の騰貴をみせたのである。費目別には光熱費は前年の104.2に比べて112.3と7.8%、食料費は前年の100.6に比べて104.4と3.8%、住居費は前年の110.4に比べて3.4%、被服費は前年の93.8に比べて96.6と3.0%、雑費の前年の108.2に比べて110.8と2.4%とそれぞれ各費目とも前年を上回っている。

		総 合	食 料	被 服	光 熱	住 居	雑 費
指 数	昭和30年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	31	100.6	99.6	100.1	100.1	105.6	101.2
	32	103.1	102.3	100.6	112.0	109.2	103.0
	33	101.4	99.6	96.9	105.0	110.4	104.9
	34	102.1	100.6	93.8	104.2	110.4	108.2
35	105.7	104.4	96.6	112.3	114.1	110.8	
対 前 年 比 (%)	31	0.6	- 0.4	0.1	0.1	5.6	1.2
	32	2.5	2.7	0.5	11.9	3.4	1.8
	33	1.6	- 2.6	- 3.7	- 6.2	1.1	1.8
	34	0.7	1.0	- 3.2	- 0.8	0	3.1
	35	3.5	3.8	3.0	7.8	3.4	2.4

次に費目別にくわしくみると

食料費指数は35年8月に豚肉、牛肉、鶏肉などの肉類、9月には食パン、10月から清酒と相次いで値上りを示すとともに魚介類、菓子果物、調味料なども騰貴をみせた主なものである。またこの反面近年の豊作によるヤミ米の値下がり野菜も5月の異常乾燥などの悪条件によつて9月まで大巾な騰貴をつづけていたが、秋に入り豊富な出回りのため一変して急下落したため食料物価の値上りを引き止める結果となつた。

被服費指数は34年5月以降ゴム、皮革製品の騰貴および衣料消費の回復などで上昇を示し、35年に入ると4月まで下落し、その後やや横這いをつづけていたが、秋物衣料の需要期に入つて上昇をみせ若干持直した。

光熱費指数は年初来より緩慢な下降線をたどり9月から年末にかけて、まきをはじめ木炭、れん炭など需要が増加したため大巾な上昇を示した。

住居費指数は昨年10月の伊勢台風の影響で大巾に上昇して以来35年に入つても比較的高水準のまま推移してきた。35年9月には、い草の品薄によつて上敷ごぎ、たたみ表の値上がりと8月から家賃、間代の値上がりも加えて大巾に上昇した。

雑費は4月に幼稚園保育料、8月以降に理髪料、パーマメント代などにつづいてサービス料金関係なども値上りを示したため前年を上廻つた。